

留萌海岸の静穏海

域整備構想

外海に面する沿岸の沖合に消波施設（防波堤、沖合人工島など）を建設し、これによつてできる波静かな海域の多目的利用を図ろうという「静穏海域整備構想」を進めている運輸省は、昭和60年度から経団連に委託し、62年度より静穏海域創出と利用の事例研究を鹿島灘、新潟沖など4海域において実施、63年度は留萌（道内で1カ所）など3海域をとりあげ静穏化による利用構想について事例研究を実施し「新しい国土の創造」沖合人工島に関する調査報告書(Ⅳ)で研究内容が発表されました。

この発表を受けた運輸省は、事業化に向けたフィジビリティ・スタディ（実現可能性調査）を実施し、事業主体などの事業化への手法・経済性・採算性・漁業権問題などについて具体的に調査する方針です。留萌では、今後、「実現可能性調査」の早期実施に向けて国へ要請をしていく考えです。



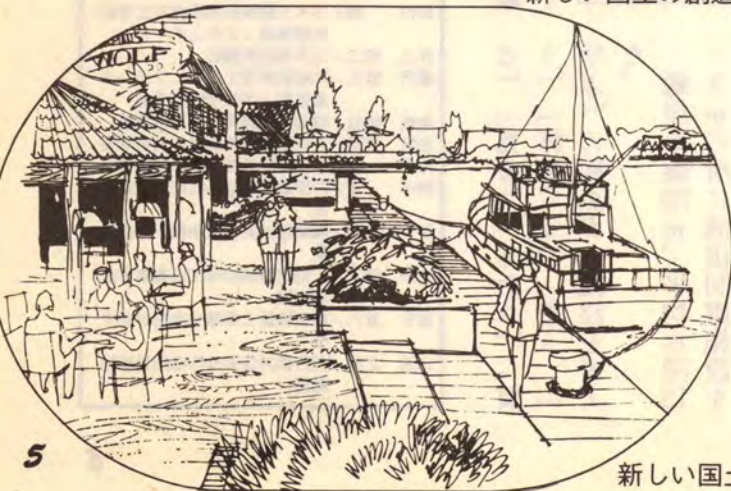
瀬越浜



黄金岬



新しい国土の創造—Ⅳより



新しい国土の創造—Ⅳより



釧路フィッシャーマンズワーフ